

NO18

陸軍通信隊士官用防空壕

所在地は明和町斎宮北野（近鉄斎宮駅より徒歩15分）



明和町斎宮には、戦時中、陸軍の通信部隊が置かれていました。

最近までは町役場の前に当時の大きな給水塔が立っており、ここがかつて旧軍の施設であったことを示していました。当時の施設は少なくなりましたが、よく探すとまだいろいろな遺構が見つかります。

畑のまんなかには、当時、士官用だったという堅固な防空壕が残っています。

半地下につづく入り口は、厚さ約15センチはあろうかと思われるドーム状のコンクリートで固められています。

傾斜したスロープを入ると左右に6畳ほどの部屋があります。現在は半分ほどの奥行きしかありませんが、当時はまだ奥に部屋があったそうです。

部隊は何度か空襲にあいましたが、この防空壕はびくともしませんでした。

しかしこの防空壕に入れるのは士官だけで、兵隊は入れなかったそうです。命を守るための防空壕にさえ上下関係があった、当時の軍隊の非人間性を感じるような施設でもあります。